

社団法人 日本建築家協会 監修  
2006 年度版 建築設備工事共通仕様書 改訂概要

<b>Ⅱ 電気設備工事</b>	
1. 1. 3 配線	電線相互の接続のうち、「はんだ揚げ」は実際に現場で行われていないため、項目から削除した。
1. 2 合成樹脂管工事	現行の「CD管を弱電ケーブルの保護管として使う」は、誤りのため、削除した。技術基準、内線規程による。
3 発電設備工事	ディーゼル発電設備のうち、国土交通省の標準仕様では、110%過負荷がうたわれているため、「長時間形」を特定しているものとみられるが、内発協の自家発出力計算ソフトでは、諸元値表の「エンジンの選定」で「ディーゼルエンジン（普通形）」と「ディーゼルエンジン（長時間形）」を選定できることから、建築家協同組合の仕様書では、「普通形」（過負荷運転無し）も選定できるよう改訂した。
24 雷保護設備工事	避雷設備の新JICの扱いが建基法の中で明確化されたのを受けて、全面改訂した。
1. 16 塗装工事(特記仕様書)	塗装は対象として「金属管・金属ダクト・レースウェイ・吊ボルトなど」をまとめて、表現した。塗装場所として「直天井の部屋、電気室、機械室」では原則として塗装し、「EPS・PS」などは、「非塗装」を選択できるようにした。

<b>Ⅲ 衛生設備工事</b>	
1 共通項目	「標準仕様管材」の追加改訂 JIS規格の改訂 「配管工事」の改訂
2 給水設備工事	「ポンプ直送ユニット」の全面改訂
3 給湯設備工事	「ガス瞬間湯沸器」の改訂 「ガスエンジン給湯器」の追記 「電気貯湯式温水器」の追記 防食処理の改訂
5 衛生器具設備工事	「身障者用便器・洗面器」仕様の追記
6 消火設備工事	「フード等用簡易自動消火装置」の追記
15 生ごみ処理設備工事	デイスポーターの改訂

<b>Ⅳ 空気調和設備工事</b>	
1 熱源設備工事	遠心冷凍機の容量制御装置にインバータータイプ追記 オイルタンクに二重殻タンク追記
2 配管設備	材料名称をJIS表示と整合見直し
3 保温工事	字句の見直し
4 自動制御設備工事	計装配管材料をJIS表示と整合見直し